

かまどのめしの理念



20240203



エリー



目次

本文	1
----------	---

本文

目指すのは「愛を与え合うこと」

ルール1「怠けず、努力して、成長を目指すこと」

努力とは「優れた人を見習う時、簡単に再現できるがダメな部分を選ばず、再現が難しくても本質な成功要因を選ぶこと」

→ルール2につながる

ルール2「自分のレベルや感性にあった方法を選ぶこと」

具体的には「王道につながる最初の一步である集中力の獲得から初めて、最終的に世界レベルのクオリティを獲得すること」

→ルール3につながる

ルール3「個性とは感じ方の特性であり、偏りがゼロにならないことを自覚すること」

特性とは「分からないと動けないことを知ること」

風「理由」

水「感情」

火「目的」

土「報酬」

1 風(事件が起きる) 事実

2 水(反応する) 好悪

3 火(結論を出す) 目標

4 土(方法を具体化する) 手段

4が過去になり1 事実

YOSHIKI チャンネルを見ていて感じた価値観を明文化したもの。

言葉にしてみて、わたし自身が納得できるものだった。

目標とルールが定まらず、評価が曖昧で、物語の世界観を作れずにいた。

納得できるなら採用すればよい。

高い抽象度の概念は集約される。

オリジナルである必要はない。

YOSHIKI さんは高さを求めて、世界レベルでプロを相手に挑戦している。

わたしは広さを求めて、スタートラインが分からず、始められない人を支援しよう。

アスペルガー傾向があり、感覚的に分からず、分かりきったことを言葉にできる特性が
生かされる。

フィールドバックに特化したマネジメント。

19歳で「疑問に答えを出すためなら命をかけます！」と一人で飛び出した。

いつか、誰かが、答えをくれるとしても、同じ道を進むなら、出会えるはず。

それなら一人で始めればよい。

YOSHIKI さんを答えとするなら、偶然に導かれた運命だ。

ローレベルの支援はわたしが引き受ける。

ローレベルとは、基本を身につけることだ。

ハイレベルとは、応用を身につけることだ。

一流ではないわたしに、専門的な話は分からない。

だがどんくさくてたくさん失敗したから、基本を説明することはできる。

基本を卒業して応用にいく人もいるだろう。

基本が身につかないまま亡くなる人もいるだろう。

チャレンジし続ける人は、出来に関係なく、みんな仲間だ。

やると決意し、行動した人しか、わたしには支援できない。

価値観を共有できるなら下手くそでも仲間だ。

わたしにとっての楽園。

「やる」と決意して、取り組み続けることが、矜持を持つということだ。

レベルが低くても、できることを引き受けるなら、強者なのだ。

どんなに才能が豊かでも、他人の役に立とうとせず、自分のために利用する人は弱者だ。

できないことがあるから弱者ではない。

やろうとしないから弱者なのだ。

矜持を持たない弱者男性が嫌われる理由は、自分のことしか考えてないからだ。

年齢も性別も関係ない。

自分より弱いものに目をかけない態度が悪い。

「自分は支援を受ける側」と考えて、「支援する側」と思わないことが、社会的分断の原因だ。

レベル 99 の人は、レベル 99 の問題に取り組む。

レベル 1 の人は、レベル 1 の問題に取り組む。

そうやって自分のレベルを全員が引き受けるから、潤滑に回っていく。

レベル 99 の人に、レベル 1 の人が、レベル 1 の問題で助けを求めれば、空白地帯ができて、世の中は回らなくなる。

王が定めた抽象的な概念を、各レベルで具体化することが、役割を引き受けることであり、取り組むということだ。

右腕となり、ルールを明文化することも、具体化だ。

家庭の中で、子どもに接する態度に生かすことも、具体化だ。

自分がやるべき具体化を、上司に求めたら、成長しない。

YOSHIKI さんが全部なんとかしてくれる訳ではない。

王は目標とルールを定めて、世界観を体現するのが役割。

「見てたらなんとなく分かってくる」みたいな手本だ。

自分のケースに応用できない人は、わたしが考えをまとめるために、聞き取りをして支援する。

YOSHIKI さんが、この理念について、なんというかは、分からない。

かまどのめしが大ヒットして、アニメ化でもされない限り、会うことはないからだ。

返事を知る可能性は限りなくゼロに近い。

評価されたら嬉しいけど、評価されなくても、わたしの価値観を体現している。

わたしの役には立つ。

「ほめられないならしない」なんて、子どもじみたことは言わない。

自分が今感じていることを形にしていくだけだ。

一人は慣れてる。

かまどのめしの理念20240203

著 ELYE

制作 Puboo
発行所 デザインエッグ株式会社
